

平成27年度第1回多賀城市公共交通会議 議事録

1. 日 時：平成27年10月27日（火） 10：00～11：15

2. 場 所：多賀城市役所3階 第一委員会室

3. 議事録

事務局 ただ今より、平成27年度第1回多賀城市公共交通会議を開催致します。初めに、主催者を代表して副市長からご挨拶申し上げます。

副市長 委員の皆様には、お忙しい中ご参集いただきありがとうございます。

本日、ご報告させていただきたい事項が何点かございます。初めに、多賀城市の生活交通ネットワーク計画の経緯についてご報告致します。次に、多賀城西部線の運行形態の変更について、21条から4条への移行を当初4月からと予定していましたが、事情があり、時期をずらしましたのでその経緯をご報告致します。また、運行実績として、乗降客数や運賃収入のご報告を致します。こちらは顕著に回復している状況です。それから12月に仙台市の地下鉄東西線が開通するに伴い、荒井駅と多賀城駅間にミヤコーバスが新たにバスを運行することですので、併せてご報告させていただきたいと思っております。ボリュームが少し多いですが、よろしくお願い致します。

事務局 続きまして、本会議の会長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

会 長 今年度の公共交通会議は第1回目ということで、多くの委員の方は昨年度から引き続き委員をお願いしておりますが、新しい委員になられた方もいらっしゃいます。また、ここ数年間、運行ルート変更やダイヤ改正などを実施してきたので、そのあたりも振り返りながら会議を進められればと思います。

市を取り巻く情勢がどんどん変化しており、多賀城駅前の開発も進んでいることから、今後も人の流れが変わっていくことが予想されます。それらの変化に対応しながら、より使いやすい公共交通を実現していくことが必要となります。皆さまから貴重なご意見をいただきながら会議を進めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

事務局 それでは協議に入りますが、ここからは多賀城市地域公共交通会議設置要項の第6条第1項の規定に基づき、会長が議長となり議事進行を行ってまいります。徳永会長よりよろしくお願い致します。

会 長 それでは次第に従い、議事に入らせていただきます。多賀城市生活交通ネットワーク計画の経緯等について、事務局より説明をお願いします。

事務局 [資料に基づき事務局説明]

会 長 ご質問などあれば、お願いします。

P3の当初案と変更案という意味を教えてください。

事務局 平成24年度に生活交通ネットワーク計画を策定した際の案が「当初案」となっております。その後、バスの利用状況などを踏まえて、毎年度計画を変更しており、その内容が「変更案」となっております。「案」と記載しておりますが、現行の方針と活動内容の実績を表しています。

委 員 生活交通ネットワーク計画は4か年ということで平成28年度まで記載されていますが、平成29年度以降は、別の計画を検討しているのでしょうか。また、平成28年度に補助事業に頼らない自主運営の開始と記載されていますが、具体的な内容があれば教えてください。

事務局 平成29年度以降については、現在の生活交通ネットワーク計画を踏襲した公共交通網形成計画の策定を来年度から検討したいと考えています。その計画の中で、平成29年度以降の事業内容等を示していくことを検討しています。

補助事業に頼らない自主運営の開始については、完全に頼らないというよりは収支率を上げて、なるべく財政負担を軽減していくような運行を行っていきたくて考えているものです。まだ具体的な内容はありますが、現状の運行を継続しながら、平成29年度以降の計画策定に向けて内容の検討を行っていきたくて思っています。

特定被災地域公共交通調査事業の被災地特例が平成 28 年度も継続される見込みと伺っておりますが、現時点でははっきりとした提示はありませんでしたので、資料の中には補助金なしという記載をしています。

会 長 色々な補助制度があり、わかりにくい話だと思います。調査事業という名称にはなっていますが、調査だけでなく運行経費などにも使われていますよね。

事務局 乗降調査なども行っています。調査を行いながらネットワーク計画を策定していくということで補助金をいただいています。多賀城市では多賀城西部線と多賀城東部線の運行経費にもこの補助金を充てています。

会 長 この補助金がなくなると、市が独自に運行しなければならない状況になります。その状況に対応するため、収支率を上げるなど、色々と検討が必要なおことが出てきます。

会 長 報告事項②多賀城西部線の運行形態変更等に係る経緯について、事務局より説明をお願いします。

事務局 [資料に基づき事務局説明]

会 長 ご質問などあれば、お願いします。特に無いようであれば、次の報告事項に移りたいと思います。

会 長 報告事項③多賀城東部線及び多賀城西部線の運行実績について、事務局より説明をお願いします。

事務局 [資料に基づき事務局説明]

会 長 ご質問などあれば、お願いします。

平成 27 年度は運行内容の変更を行っていないのに利用者が増えていますが、これはバス路線が浸透してきたというのが 1 番の要因でしょうか。

事務局 西部線については平成 25 年 7 月にルートとダイヤを変更していますので、今の運行内容になって約 2 年になります。このため、ようやく住民の方にも浸透ってきて、今まで利用していなかった方も利用するようになってきたと考えています。

会 長 フリーパスの販売が始まった当初は、主に市役所の方が通勤で利用していたという話を聞いていますが、それが倍増しています。どういった方が利用しているのかは把握しているのでしょうか。

事務局 多賀城西部地区に住んでいる市役所関係者もフリーパスを購入して定期利用をしていますが、それ以外の方もフリーパスを購入しているようです。主に通勤や通学で鉄道駅に行く方が利用しており、それらの方々が増えたと考えています。

会 長 報告事項④市内の交通需要等の動向について、事務局より説明をお願いします。

事務局 [資料に基づき事務局説明]

会 長 ご質問などあれば、お願いします。

文化交流拠点に期待するところは大きいですが、バスは南口のロータリーの方に西部線、東部線ともに停車するのでしょうか。

事務局 バス停の位置は若干変更になる可能性はありますが、乗り入れは変わらずに南口になる予定です。

会 長 その際、バス停から駅や文化施設まで、雨が当たるところもあるのでしょうか。

事務局 一部で、屋根のないところもあります。

会 長 雨に当たらずにスムーズに移動できると良いと思いますが、そこまでの整備計画はないのでしょうか。

事務局 検討はしていますが、現段階では難しいと思います。距離的には短くなりますが、少しは雨に当たることになると思います。

委員 バスは荒井駅まで運行するという話がありましたが、バスの運行時間などについては、市民にどういった周知をするのでしょうか。

事務局 現状ではミヤコーバスのホームページに掲載されている情報しか持ち合わせておりませんので、運行時間等の詳細については我々も把握しておりません。

委員 まだ予定段階ですが、平日は1日6往復、土日は4往復を予定しています。平日は2時間に1本ぐらいの運行間隔で、土日も2時間に1本の予定ですが、朝と夜の便は運行しないということも予定しています。

会長 多賀城市から水族館へのアクセスルートはこの路線だけなのでしょうか。

委員 そのとおりです。現在は水族館の方で中野栄駅からバスを運行していますが、今度は多賀城駅と荒井駅間を運行することになります。

会長 水族館のバスは継続するのでしょうか。

委員 まだはっきりしていない状況です。

委員 12月から運行開始となっていますが、もう10月末なので、市民への周知やパンフレットの配布などは検討していないのでしょうか。あと、運行するにあたって、料金はどのくらいを設定する予定でしょうか。

事務局 ダイヤの情報がまだ我々には入っていないので、現在のタイミングだと12月に多賀城駅と荒井駅を結ぶ路線バスが開通しますというぐらいのアナウンスしかできないと思います。

委員 料金は距離制で一般の路線バスと同じようになる予定です。

委員 多賀城駅～荒井駅間のバス路線について、多賀城市は関与していないという理解で良いのでしょうか。もしタイアップしていくということであれば、市民へのケアが不足していると思います。

事務局 どれほどのPRを望んでいるのか理解が及んでいない部分があります。多賀城駅から水族館経由で荒井駅まで行くということは市民の利便性向上になるので、PRをする必要があると思っています。広報誌や多賀城市のホームページで周知したいと思います。民間企業の路線なので料金まで市が周知することは難しいのではないかと理解しています。しかし、バス路線が新設されるということは市民にも話をしていますし、新聞でも取り上げられていますので、必要に応じて、PRしていきたいと思っています。

会長 この路線はミヤコーバスの単独事業なので、市からの補助金が最初から入るといった路線ではないという理解で良いのでしょうか。

委員 はい。そのとおりです。

会長 そういった意味でPRの関わり方は難しいと思いますが、例えば、末の松山を水族館に来た人にアピールするなど、観光部局と連携していくこともできると思います。末の松山の場所はわかりづらいですが、案内ルートなどは整備されているのでしょうか。

事務局 案内標識がありますので、それほど迷うことはないと思います。また、水族館とも色々な話し合いをしており、水族館に多賀城市の観光案内も置いていただいています。バスが開通した際には、もう少し多賀城市の観光案内をさせてほしいとお願いもしています。逆に、多賀城駅の観光案内所に水族館のパンフレットを置かせてほしいという依頼も受けておりますので、協力していきたいと思っています。

委員 今年の春から七ヶ浜町のバスのルート上に休場の停留所を設けてもらいましたが、市民は使っているのでしょうか。需要はどのくらいあるのか、教えていただきたいです。

事務局 休場については、今年度から七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」の停留所を置いていただいております。先日、七ヶ浜町の公共交通会議でも議題に上がり、乗降客数も教えてもらいましたが、七ヶ浜町民バスの中でもかなり利用者が多い方でした。

- 委員 七ヶ浜町では、今年度新たに高台住宅団地と災害公営住宅にも停留所を設けましたが、休場の停留所はその約3倍ほど利用されている状況です。
- 委員 おそらく、病院関係の利用者が多いと思いますが、それだけ需要があるのなら設置して良かったと思います。
- 会長 災害公営住宅の関係ですが、路線図を見ると、宮内地区が空白地帯のように見えますが、この地区の最寄りのバス停はどこになるのでしょうか。
- 事務局 現在の路線で最寄りのバス停は汐見台団地線の「北谷地」と「ソニー前」となります。12月に新たに荒井線が開通すると、イオン前に新設される「町前」が最寄りのバス停になると思います。
- 会長のおっしゃるとおり、今の路線形態だと宮内地区は交通空白地域になってしまいます。宮内地区に災害公営住宅が建ち、入居された方からバスに対する需要がどの程度あるのかによりますが、場合によってはバス路線の検討もしていきたいと思います。
- 委員 現在の生活交通ネットワーク計画が平成28年度までとなっており、その後は国の交通網形成計画を検討していきたいということでしたが、これは平成28年度中の策定に向けて着手するのでしょうか。
- 事務局 現在の被災地特例の補助金が平成28年度まで続くのであればそれを活用して平成28年度中に策定し、平成29年度からは公共交通網形成計画で策定した計画に関係する内容で国の補助金等を申請したいと考えています。
- 会長 特定被災地域公共交通調査事業は4月～3月ですが、その他のバスの補助金関係は10月からと時期のずれがあります。
- 委員 特定被災地域公共交通調査事業を充てている路線について、万が一、補助がなくなった場合にはフィーダー系統への移行は可能です。ただし、補助額が10分の1程度になってしまいます。
- 事務局 予定としては、多賀城東部線は七ヶ浜町と跨っている路線なので、幹線系統で申請したいと考えています。多賀城西部線の方はそれに繋がる路線ということでフィーダー系統での申請を検討しています。
- 会長 制度が複雑ですが、補助期間の切れ目が4月と10月で違うなど、切り替えのタイミングが難しいところがあるので、一つ一つ相談しながら進めていくということになると思います。その他いかがでしょうか。周りの声などお聞きになっている部分などあればお願いします。
- 委員 市民の声としては、だいぶバスが便利になったということで、特に大代地区の人たちから利用しているという話が出てきています。状況としては良い方に行っていると思います。
- 委員 西部地区の方は、高齢者も多くなり車に乗れなくなってバスを利用する人が比較的多いので、助かっているとの声を聞きます。要望としては、岩切駅で電車を降りて、ちょうど良い時間のバスがあれば、新田の方に行きやすいという話を聞くことがあります。
- 会長 西部線は循環線になっているので、回り順により、すぐ到着する時と遠回りになる時があります。ルート変更の要望などを含めて多くの意見があると思います。どのようにすれば使いやすくなるのかということは継続的にみていくことになると思います。
- 事務局 今回、内容を詰められず審議していただくまでに至らなかった議題の一つとして、来年度からのルート変更とダイヤの増便がありました。昨年の公共交通会議でも話が出たとおり、バスの運転手不足が思っている以上に深刻であることから、ダイヤを増便したくても運転手がいないので出来ないというジレンマがあります。そのような実情を勘案して、今回はルート変更とダイヤ増便は見送ることとしました。ただし、現状でも多少の遅れ等が発生していることから、実情に合せた軽微なダイヤ変更は行いたいと思っております。来年度以降、人の流れが大きく変わりますが、増便の要望は以前からあるので、今後さらに検討して、バス事業者などと協議して進めていきたいと思っております。

会 長 運転手不足は深刻で、結局、減便した路線もなかなか戻らない状況です。今後、運転手が増えることを期待しますが、そのためにも利用者が増えていくということが必要だと思います。より良い運行ができるように、皆さまの力をお借りしたいと思うのでよろしくお願いします。以上で協議を終わりにします。

事務局 それでは委員の皆さま、長時間に渡る議論をありがとうございました。ここでの協議内容及び意見等を踏まえて、今後のバス運行計画の策定等を進めさせていただきます。なお、今回の会議の結果については、要項第 6 条の規定に基づきまして、ホームページ上で公開致しますのでご了承願います。今回の協議を踏まえ、今年度にまた公共交通会議を開催することになった際は、ご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。以上で、第 1 回多賀城市公共交通会議の全てを終了致します。本日はどうもありがとうございました。